

### 第3回 人権施策推進会議議事録

開催日時 令和7年2月10日(月) 9時30分から12時00分まで

開催場所 横須賀市消防庁舎3階 消防第3会議室

出席者

【委員】池田澄子、君島富美江、権瓶伸夫、角井駿輔、  
中丸妙子、西村 淳、早坂公幸（敬称略、50音順）

【欠席者】なし

【傍聴者】1名

【説明員】危機管理課 鈴木課長、久保係長  
障害福祉課 窪課長補佐

【事務局】市長室 井上室長  
人権・ダイバーシティ推進課 杉山課長、上嶋課長補佐、岩崎主任

---

委員 7名中 7名が出席

#### 1 開会

- ・市長室 井上室長挨拶
- ・説明員紹介

#### 2 議題

(1) 事業評価シートについて

災害に伴う人権問題（震災時避難所における取組み）について

##### 【主なご意見】

(子ども連れの家族への配慮について)

- ・避難所には子どもだけでなく高齢者なども多くいる。子ども同士だけでなく高齢者との交流が広がるようなスペースがあると、避難者にとって心の支えになるものと思う。

(備蓄物資について)

- ・避難所ではトイレの整備を第一に考える必要がある。トイレの足りていないところにはトイレトレーラーを準備することもよい。
- ・トイレトレーラーは1台当たり2千万円すると聞いているが、有用であると思う。

(関係機関等との連携について)

- ・遠方の自治体等との相互支援の協定を締結するなどをして、広域での助け合いが図られるとよい。

(要援護者の避難支援について)

- ・要援護者への安否確認については避難所運営マニュアルには記載されていない。会長等には別に要援護者の情報等が届いているのかもしれないが、避難所運営委員会の委員まで情報は届いていないため、訓練や計画などを立てることができない状況となっている。要援護者の安否確認や避難所までの避難支援に関して、避難所運営マニュアルに記載するなど工夫したほうがよい。

(関係機関等との連携)

- ・町内会も高齢化が進んでいる。学校体育施設開放を利用しているスポーツクラブも避難所運営委員会として役割を担っていただくこともよい。

(周知啓発について)

- ・各避難所運営委員会によって特色があり、様々な取り組みが行われている。市が市内の各避難所運営委員会の活動紹介をされれば、自身の不足や新たな取り組みの発想につながるものと考ええる。

(備蓄物資について)

- ・学校によって備蓄物資の内容に差がある。補助金の使い道も、基本的な物資だけを買って、残りを防災グッズの配布に使っているような地域もある。備蓄物資の見本のリストなどがあるとよい。

→ ハード面については行政が担っていく。足りない部分は補助金を活用して補っていただきたい。(危機管理課)

(持病を持っている方への配慮)

- ・各避難所の中でも状況は異なるが、中学校の生徒会や福祉関係の経験者に協力を仰ぐこともよい。

## 【その他質疑応答】

- ・トイレについて
  - 携帯トイレを270万個備蓄している。トイレトレーラーについては下水直結型のものを1台配備する予定である。また、全国に災害派遣のトイレ団体があり、そこへの加盟も検討中。(危機管理課)
- ・ボランティアスタッフとわかるようにビブスがあるとよい。
  - ビブスはボランティア登録時に配付している。(危機管理課)
- ・子ども達が学校にいる時間帯に震災が起きた場合の具体的な対応はどうか。そこまでの訓練には至っていない。
  - 子どもは親御さんに学校へ引き取りに来てもらうことになる。(危機管理課)
- ・「一次福祉避難所に配置される救護・福祉班の班員」とあるが、市職員が配置されるということか。一次福祉避難所は自主運営という文言との食い違いがあるように思うがどのようなことなのか。
  - 震災時避難所運営委員会の中に「救護・福祉班」が立ち上がり、その班員(避難者)が一次福祉避難所の支援も中心となって行うこととなる。(障害福祉課)
- ・医療的ケアが必要な方は、家族と一緒に二次福祉避難所に移動するということか。
  - 現在、医療的ケアが必要な方の個別避難計画の検討を進めている。対象者をどうするかなどは検討中。一次から二次への移動については現在のところ具体的解決策の案がない。(障害福祉課)
  - 福祉避難所の開設・運営などに関して、先日、阪急交通社と防災協定を締結した。(危機管理課)
  - 一次から二次への移動については、継続して検討していく課題と認識している。
- ・一次福祉避難所の部屋をどう作ればよいかわからない。
  - 来年度は訓練を行い、実際にテントやベッドを配置してみたい。(危機管理課)
- ・避難者カードの性別欄の「無回答」は当事者に配慮して選択肢に入れたということでしょうか。
  - 令和3年度に開催した当事者との意見交換会において、性別欄の記載方法についてご意見をいただき、この選択肢になっている。(人権・ダイバーシティ推進課)

#### 【資料の修正】

- ・ 3 ページ、避難所ボランティア制度について説明を追記する。
- ・ 7 ページ、プライバシーが確保できる体制を整備していることの手き方を修正する。
- ・ 8 ページ、段ボールベットについて、確保の状況がわかりづらく、避難所開設時にどのような使い方となるか、などを追記する。

### (2) 横須賀市人権施策推進会議報告書(案)について

#### 【主なご意見】

- ・各意見を列挙するかたちとなっているので、総論的なまとめの意見を記したほうがよい。
- ・避難所運営委員会や備蓄物資に関する意見も多かったので、総合評価部分の意見に追記したほうがよい。

### 3. その他

#### ◎ 横須賀市市民人権意識調査について

#### 【主なご意見】

- ・導入の質問としては、「人権とはどういうものだと思いますか」という質問がよいと思う。それにより、人権がそもそも何なのかを考える出発点になるものと思う。そのうえで、「どの人権課題に関心がありますか」という質問を「どの分野において、人権に課題があると思いますか。」に変えて質問してはどうか。
- ・問3「人権意識が高まり人権侵害が減っていると感じますか」という質問があるが、「人権意識の高まり」と「人権侵害の減少」は分けて質問するか、別の聞き方にしたほうがよい。
- ・問4の選択肢に「学校における人権啓発活動」を追加するとよい。それにより人権擁護委員会の活動がどの程度浸透しているかも把握することができるものと思う。
- ・全般的に質問の仕方が統一されていないので統一したほうがよい。